

平成30年度 再評価委員会

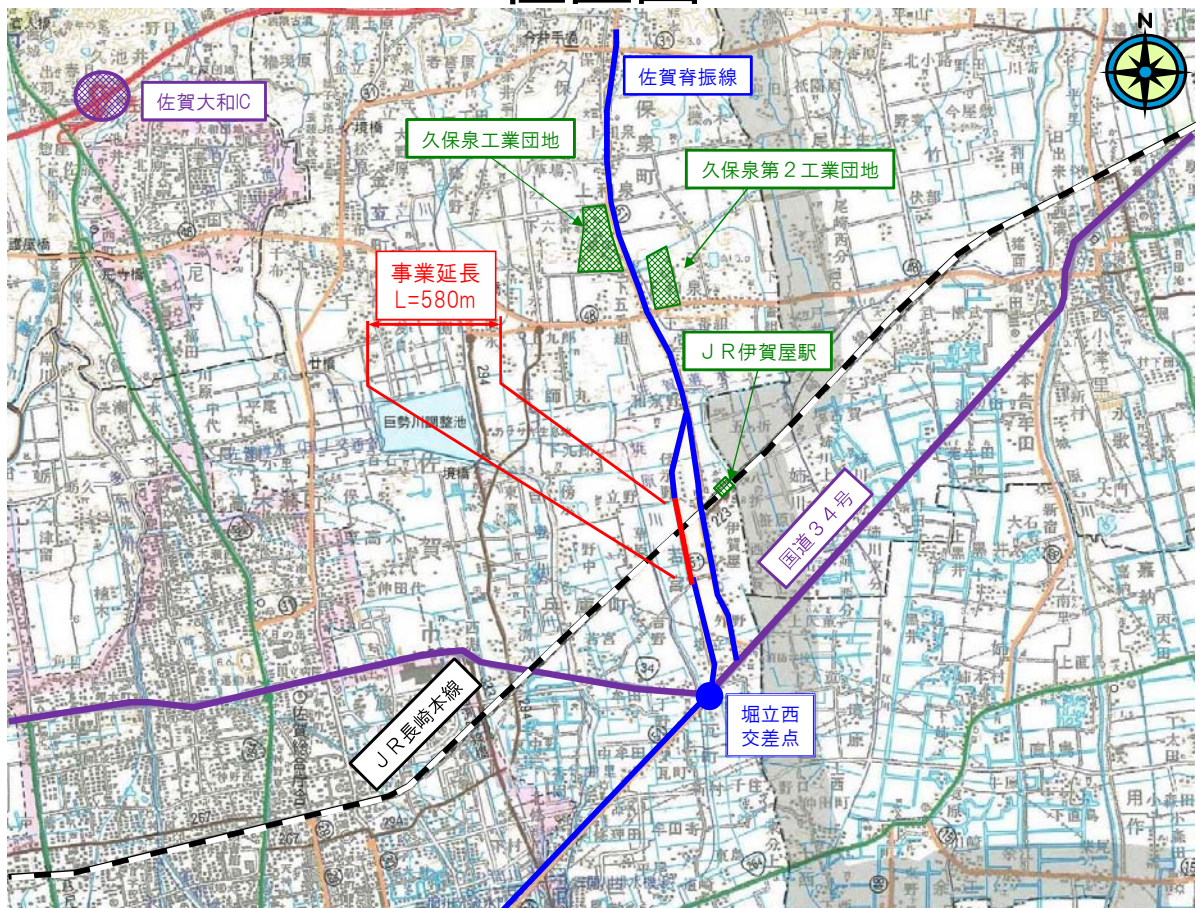
事業名：道路整備交付金事業

路線名：主要地方道 さがせふり ひょうご 佐賀脊振線(兵庫工区)

事業地：佐賀市兵庫町若宮

再評価実施後5年経過のため再評価

位置図



事業目的

幅員狭小や踏切遮断により
通行に支障をきたしている!



歩道がないため歩行者が
危険にさらされている!



踏切を跨ぐバイパス(歩道含む)整備により

交通の円滑化、安全性の向上

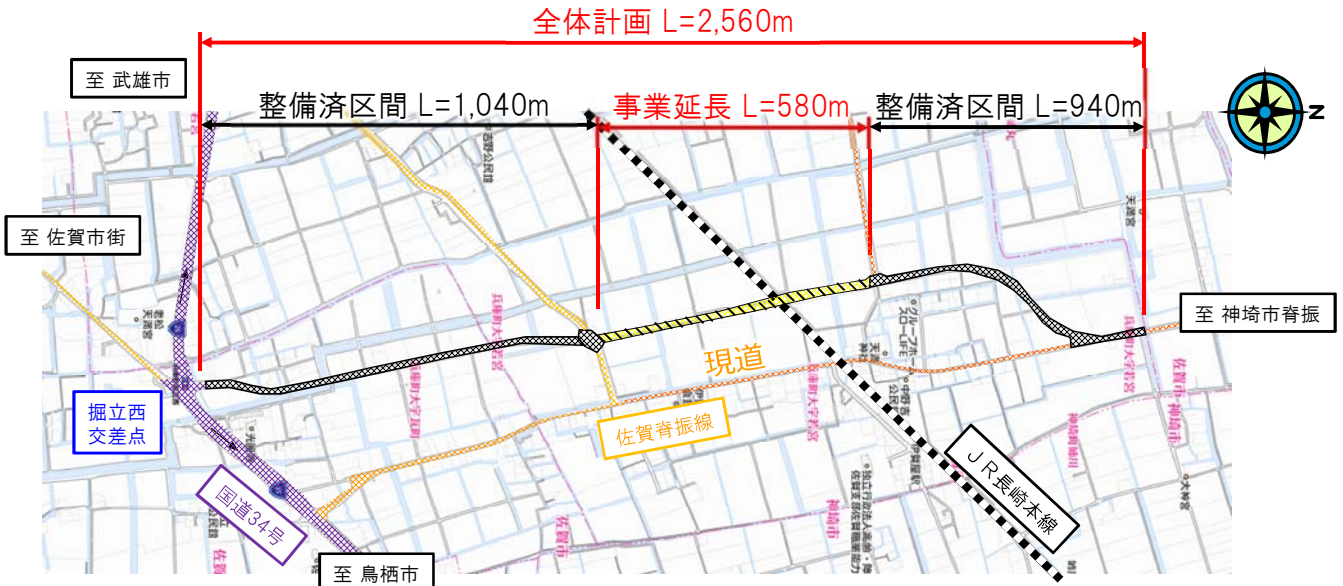
事業概要

- 全体事業費: 20.6億円
- 工期: 平成8年度～平成39年度
- 事業延長: L=580m
- 計画幅員: W=6.5(15.0)m
- 事業内容: 改良工 L=580m
舗装工 L=580m
橋梁 N=1橋(跨線橋 L=41.0m)
測試 一式 用地補償 一式

事業の進捗状況

	平成29年度まで	平成30年度	平成31年度以降
事業費(億円)	3.5	0.9	16.2
進捗率(%)	17.0	21.4	100.0
用地進捗率(%)	99.9	100.0	100.0

平面図



凡例	
黒	平成29年度まで
赤	平成30年度施工箇所
黄	次年度以降施工箇所

平成30年 現地状況

起点側より（佐賀市街側から神崎市脊振側を望む）

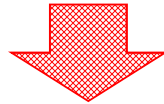


整備済区間 終点側より（神崎市脊振側から佐賀市街側を望む）

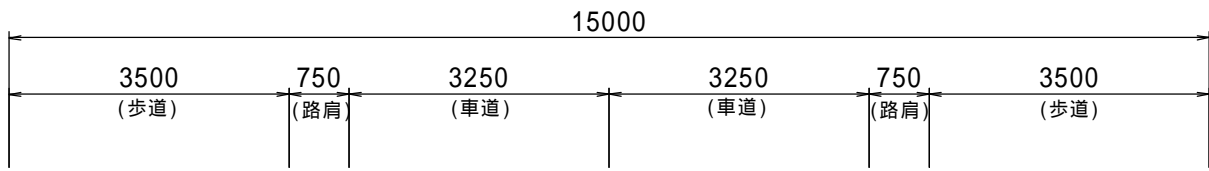


横断図

現況



計画



事業を巡る社会経済情勢等の変化

○久保泉工業団地に隣接する久保泉第2工業団地内のすべての工場が平成30年2月までに操業された。このため、工業団地へのアクセス道路として、今後、交通量の増加が見込まれる。

○また、現道の交通が整備済区間に転換されており、当該区間が整備されれば、さらなる転換が予測される。

費用対効果の要因の変化

事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比}(B/C) = 21.9 / 18.8 = 1.16$$

【便益】

走行時間短縮便益 = 21.2 億円

走行経費縮小便益 = 0.5 億円

交通事故減少便益 = 0.2 億円

合計 21.9 億円

【費用】

事業費 = 18.3 億円

維持管理費 = 0.5 億円

合計 18.8 億円

基準年(平成30年度)における現在価値

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

対応方針（事業課案）

○当該事業箇所はバイパスによる整備であるため、整備効果を発現するためには、事業の継続が必要である。

○当該箇所の事業の必要性に変化はなく、交通の円滑化と交通安全を図るため、事業を継続したい。